

版

五年 画数 8
筆順
フン
フン
フン

版
版
版
版
版
版
版
版
版
版

成り立ち

「木」という字の右半分を表した「片」と、「板」の意味の「反」とを組み合わせて作った字です。

「板」を小さく切ったものを表した字で、昔、印刷に使った「版木」のことを表した字です。今では、木を使わないので、「活版」「銅版」などと使われます。

「印刷して書物を作る」意味に使われます。【例】出版、再版、絶版、版元、版權。

また、「人口や土地を記録した帳簿」のことを「版」と言います。【例】版図。

使い方

▽本屋さんに入ると、色々な出版物があります。けれど古い本はありません。絶版になった本などは、古本屋さんで見つかることがあります。評判の良い本は、再版されることが多いので、本屋さんになくても、心配することはありません。

熟語例

- ▽出版（本を印刷して、売ること。）
- ▽再版（以前に出版した本を、もう一度出版すること。また、その本）
- ▽絶版（二度出版した本の印刷や発行を、もうしなくなる。）
- ▽版元（本の発行所。「出版元」の意味です。）
- ▽版權（本を出版する権利。これをもっていないと、その本を出版することができません。「その本の版權は、〇〇社が持っている」というふうに、つかいます。）
- ▽版図（一つの国の領土のこと。「戸籍」と「地図」という意味が、もとの意味です。「版図を拡大しよう」という野望を持つ」というふうに、つかいます。）

比

五年 画数 4
筆順
フン
フン
フン

比
比
比
比
比
比
比
比
比
比

成り立ち



「人」が二人、ならんですわっているすがたを表した字です。

人が二人いれば、たいてい二人を「くらべる」ものですから、「くらべる」という意味を表しました。【例】比較、比重、比例、比類、無比。

また、「人がならんでいる形」ですから、「ならぶ」という意味にも使われます。【例】比肩、比翼の鳥。

使い方

▽ぼくは、よく、おにさんと比較されます。背の高さなどはまだ良いのですが、勉強のことや、おぎょうぎの善し悪しなどを比較されると、いやな気持ちになります。

熟語例

- ▽比較（くらべること。）
- ▽比重（水と比べた時の重さ。「この物質の比重は一・四だ」というふうに、つかいます。）
- ▽比例（二つの量の比が一定であるという関係。「外気の温度に比例して、室温もあがって来た」というふうに、つかいます。）
- ▽比類（比べるなにか。「比類ない傑作」というふうに、つかいます。）
- ▽無比（比べるものがないほど、すぐれていること。）
- ▽比肩（肩をならべること。）